

15章 左官工事

6節 仕上塗材仕上げ

15. 7. 1 一般事項

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面及びALCパネル面へのマスチック塗材塗りに適用する。

15. 7. 2 材料及び工法

(1) マスチック塗材塗りは表15.7.1による。

表15. 7. 1 マスチック塗材塗リ

工 程		塗 材 そ の 他	塗付量(kg/m ²)
素地ごしらえ		18.2.5【モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ】又は18.2.6【コンクリート面、ALC面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ】による。	—
1	下地押え	合成樹脂エマルジョンシーラー	0. 12
2	塗材塗リ	マスチック塗材A	1. 20

(注) 1.素地ごしらえの種別は、塗材その他の欄による。

2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6【コンクリート面、ALC面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ】によるB種とする。

(2) マスチック塗材はマスチック塗材の製造所において調合されたものとする。

(3) マスチック塗材は、施工に先立ち、攪拌機を用いて攪拌する。

(4) 塗付は、多孔質のハンドローラーを用い、下地にくばり塗りを行った後、均し塗りを行い、次にローラー転圧によりパターン付をして、一段塗りで仕上げる。

(5) 塗り継ぎ幅は、800mm程度とし、塗り継ぎ部が目立たないように、ムラなく仕上げる。

(6) パターンの不ぞろいは、追掛塗りをし、ムラ直しを行って調整する。